

第5回(2005年度)グリーン・サステイナブル ケミストリー賞 環境大臣賞受賞について
～「ROK-Finer」プロセスおよびサルファーフリー軽油の製造技術で受賞～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、サルファーフリー(イオウ分10ppm以下)燃料製造技術開発による地球環境負荷低減への貢献が認められ、第5回(2005年度)グリーン・サステイナブル ケミストリー賞(GSC賞)環境大臣賞を受賞しましたのでお知らせいたします。

当社は、ガソリンや軽油の低硫黄化技術に加え、重油などのより重質な留分を原料とし水素化分解することでサルファーフリー燃料を得るなど、いくつかの技術の融合体としてのサルファーフリー燃料製造技術を開発しました。

その中で、「ROK-Finer」プロセス※1およびサルファーフリー軽油の製造技術が、日本のGSC活動※2推進の中心機関であるGSCネットワークより、環境負荷低減に大きく貢献する技術として高く評価され、同賞の受賞につながったものです。石油業界としては、コスモ石油株式会社と共に初めての受賞となりました。※3

特に「ROK-Finer」は、平成17年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰、平成17年度石油学会賞に続く3度目の受賞となります。また、サルファーフリー軽油の製造技術についても、平成15年度石油学会賞など4度目の受賞となります。

当社は、行動規範として「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げています。今後も、地球環境保全に寄与する自動車用燃料の開発・製品化に挑戦し続けることで、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指してまいります。

※1:当社が開発した新しいガソリン脱硫プロセス技術であり、(財)石油産業活性化センターの技術開発事業として2004年に20,000バレル/日規模で実証化を開始、これまで1年間問題なくサルファーフリーガソリンの製造を行っています。

※2:化学に関わるものが自らの社会的責任を自覚し、化学技術の革新を通じて人の健康とより良い環境を目指し、持続可能な社会の実現に貢献していくことを目的とする世界的な活動です。日本国内では、2000年3月に化学系の学会・団体および国立研究所による任意団体として、グリーン・サステイナブル ケミストリー(GSC)ネットワークが設立され、GSC活動を推進しています。

※3:「環境低負荷型超低イオウ燃料製造技術の開発」として、別途応募したコスモ石油と共同受賞となりました。

以上

 「ROK-Finer」の概要、サルファーフリーについて(PDF:9KB)